

# ビオトープだより第7号

会員・BAより ビオトープに関する情報を提供します。



## 1. 水質のバロメーター…バイカモについて 副会長・主席 BA 野澤日出夫

取材場所：岩手県一関市東山長坂字里前 善龍寺の湧水 大清水（オオスズ） 砂鉄川の河岸  
2021年7月14日（水）

岩手の名水20選（1985年） 上水道の源泉 湧水量20t/日

6月中旬から開花し始めるバイカモは、8月中旬まで岩手では楽しめます。

先日、NHKの大隅智子キャスターより依頼されて、一関の湧水で開花しているバイカモの取材に同行し、ビオトープ協会としてのコメントを求められました。7月15日の「おぼんですいわて」の気象キャスター大隅智子さんのコーナーで紹介されました。（オリンピック関係番組で45分番組が15分に短縮）TV放送写真を貼付します。

バイカモについて近畿以西ではなじみが無いと思いますが以下に記してみます。

バイカモは近畿以西では絶滅して見る事は出来ません。福島や関東から近畿まで多くの県では絶滅危惧種に指定されています。岩手では多くの河川の清流で見られますが、県内でも絶滅している地域が多くなっています。それでも岩手県は水質の良い河川が他県より多く、バイカモの分布がかなり広く見られます。いわてレッドデータブック「Cランク」（存続基盤が脆弱な種、環境省では準絶滅危惧種）

バイカモの生育要件は、下記の5項目が最低条件でしょう。

- 1, 水温 15度前後の清流（20度くらいまで）
- 2, 水深 30～50 cm （太陽光線が十分届くこと）
- 3, 流速 20 cm～30 cm/毎秒 （流速が早いと根が活着出来ない）
- 4, 河床には、砂礫が数 cm 堆積している環境が好条件
- 5, 水質汚濁には弱い（田畑からの化学肥料農薬等汚染、廃水流入など）

多年生の沈水植物で、春先に地下にある根、匍匐茎、側枝などから新芽が発芽し茎葉体形成が始まり、夏には個体群を形成するようになります。茎葉部は切れやすくて、いわゆる「切れ藻」となって下流に流れ、砂礫や既存の茎葉体その他に引っかかり、発根、定着することが実際の繁殖の主な姿と推定されていますが、種子による繁殖も個体群の中では見られると思われま

す。水中花と水上花を作りますが、どちらにおいても種子を形成しますので、自家受粉でしょう。

バイカモの群生地は 水棲昆虫の生息場所・淡水魚類の産卵場所（ハリヨ・イトヨなど巢作りの場所）、生物多様性の源である清らかな水の証でもあります。観察した大清水湧水でもサワガニが棲息していました。

長さ1～2mに伸長して6月から8月にかけて花茎を伸ばし水上または水中で開花します。花弁は5個、ほぼ円形で基部は黄色となります。花の形が梅の花のようで梅花藻（バイカモ）と呼ばれます。

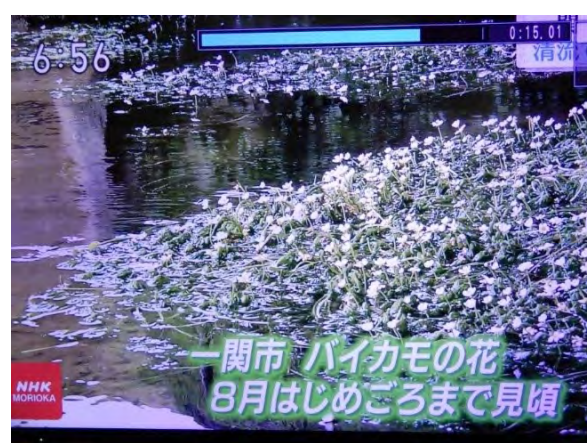
日本固有種で外国では見られないキンポウゲの仲間です。

上記の生育要件から「水質のバロメーター」と言われます。

「藻の花」夏の季語（梅花藻の花）

藻の花や小舟よせたる門の前（与謝蕪村）

SDGs 6「安全な水を世界中に・・・」・SDGs 14「海の豊かさを守ろう」・SDGs 15「陸の豊かさを守ろう」・・・生物多様性・・・私たちの持続可能な食料の供給源である・・・SDGs 1「貧困をなくそう」・SDGs 2「飢餓をゼロに」・SDGs 3「全ての人に健康と福祉を」・SDGs 11「住み続けられるまちづくり」・SDGs 10「人や国の不平等を無くそう」につながります。



2021年7月21日（水）14:00～15:00

駒澤大学経済学部現代応用経済学科 松本典子教授のゼミ所属の二人の学生、千葉さん・永井さんから、ビオトープに関する質問についてオンラインで対応しました。

冒頭に松本典子教授からご挨拶をいただきました（学生が自由に発言できる様にその後ご退出）。松本ゼミは、非営利組織論、協同組合の経営学等で、ゼミ生たちは年度ごとに目標を定め、街づくりや街の活性化について実践的な取組を行っています。

協会側は、櫻井会長・野澤副会長・梶岡総務委員長（都合で途中退出）・事務局佐々木で対応しました。

今回のインタビュアーのお二人は、生物の絶滅危惧種などに関心をもち、ビオトープについて知識を得たいとの目的で、熱心に質問され、櫻井会長以下、わかりやすくお答えしました。

主な質問は以下の通りで、若い方々がビオトープに対してどのようなイメージを持たれているかも、大変興味深いリモートミーティングになりました。

1. ビオトープは生物の絶滅への対策として効果的か？
2. そもそもビオトープとは何か（自分たちの小学校にあったものはビオトープと呼べるのか）
3. ビオトープで保護する生物について
4. 海や陸の生物の保護は不可能なのか？
5. ビオトープに関わることとなったきっかけは何か
6. 最終的な目標は（ビオトープを作って何を目指すのか） 等でした。

櫻井会長から、はじめに協会設立の経緯や理念をお話し、実際にビオトープに長く携わってきた経験に基づく内容をもとにおこたえしました。梶岡総務委員長からは、中・四国、九州での取組や、児童生徒への環境教育として理解しやすいホテル復活の活動等のお話。野澤副会長から、SDGsの根幹の海の豊かさ・陸の豊かさ・清らかな水・温暖化に具体的な施策の4項目は、最も重要で人類の持続的な食料につながることを、小岩井農場がビオトープの思想で130年前に作られたこと等をお話ししました。

森・川・海の関係（海を豊かにするために山に木を植える運動）、他、ビオトープに関する理解を深められたことと思います。また、協会で定期的に行っているホテル水路づくり研修会等に参加いただき、実際にビオトープ見学や維持管理活動をされれば、より豊かな勉強になられるかと存じまして、おすすめていただきました。



**【SDGs14】海の豊かさを守ろう**  
**【SDGs15】陸の豊かさを守ろう**

エコラベルがついた環境にやさしい商品があることをご存じですか？

『エコラベル』とは、海や森の自然を守るため、環境に配慮して生産された商品につけられているラベルです。



**海の豊かさを守るために**

**サステナブル・シーフード**



豊かで健康な海を子供たちに！  
サステナブル・シーフードを選びましょう

※サステナブル（＝持続可能）とは、ずっと未来にも続いていくということ。

**MSC「海のエコラベル」**



いつまでも魚を食べ続けられるように、水産資源と環境に配慮し適切に管理された、持続可能な漁業で獲られた天然の水産物の証し。  
選ぶことが魚や海を守ることにつながる。  
【海洋管理協議会】

**ASC 認証**



責任ある養殖により生産された水産物に与えられるラベル。  
養殖が及ぼす環境への負担を減らし、養殖に関わる人々の暮らしを支える。  
【水産養殖管理協議会】

**陸の豊かさを守るために**

**FSC® 認証**



『責任のある森林管理』のマーク。購入することで、適切な森林管理を応援することのできる商品につく。（トイレトーパーなど）

【森林管理協議会】

**有機 JAS**



農薬・化学肥料や、遺伝子の組み換え技術などを使わず、自然の力を生かして生産された食品を表している。（農産物、加工食品、飼料及び畜産物など）

【農林水産省】

**レインフォレスト・アライアンス認証**



人と自然にとって未来のため、より持続可能な農法に従う認証農園産の商品につけられる。（コーヒー、お茶類、チョコレート、果物など）

エコラベルのついた商品を選ぶことは、『海の豊かさ』『陸の豊かさ』を守るために 私たちができることのひとつです。